

## 第19回:靴と外交

日本駐箚のイギリス外交官から聞いた話だが、国連の歴史のなかでレッドカード級の暴挙に出た人物が二人いるという。

一人は国連総会に拳銃を持って乗り込んだパレスチナ解放機構(PLO)のアラファト議長。1974年、PLOは国連総会のオブザーバー資格を獲得し、アラファト議長は初の国連演説において「わたしはここに平和の象徴であるオリーブの枝と、闘争の象徴である拳銃を持ってきた。どうか私の手からオリーブを落とさせないで欲しい」と訴えた。本人はアラブの大義を世界に訴えたつもりだったのだが、紛争の平和的解決を目的とする国連本部に持ち込んだモノがまずかった。因みにアラファト議長の愛銃は、映画で007が使用するワルサーPPKのような洗練されたデザインの小型拳銃ではなく、野戦用の小型サブマシンガンに似たごつい業物であった。

もう一人の大物は、1960年の国連総会でスペインの反ソ演説を痛烈に批判し、興奮のあまり自分の履いていた靴を脱ぎ捨て、その靴でテーブルを叩きながら怒号したソ連のフルシチョフ第一書記。本人はソ連製の靴は頑丈である、演壇をぶっ叩いたくらいでは壊れないと世界にPRしたつもりだったかどうかは不詳だが、足に履くものを机の上に置かれて喜ぶ人は国連加盟国にはいないだろう。彼の行動は世界中から非難を浴び、ただでさえ低かったソ連の評価を更に大きく下げることになった。

それから約50年後の昨年末、イラクの首都バグダッドを訪問した米ブッシュ大統領が、イラク首相との共同記者会見中に同国のジャーナリストから靴を投げつけられ、「イラク人からの別れのキスだ、このイヌめ!」と罵倒されるハプニングがあった。靴一足、つまり二本投げられる連続攻撃を(意外にも)いともたやすく躲した大統領は、「事実関係を申し上げると、あの靴のサイズは10号だった」と余裕のジョークを見せた。在任中は世界中から失政を批判され続けた同氏であったが、さすがは世界の警察官だけあって危機管理の要諦は心得ていたようである。報道によると、トルコにあるこの靴メーカーには世界中から注文が殺到し、新たに「ブッシュ・シューズ」と命名されたこの靴を増産するために、メーカーは100名の臨時工を採用することになったという。

この事件の画像を見て世界中が笑い転げ、ブッシュに靴を投げつけるオンラインゲームまで流行るなか、中国外交部の劉建超スポークスマンは内外の記者を前に、「北京市民がこの(靴攻撃)事件をどう見るかは個人の問題だが、私は一国の指導者に対して最低限の敬意は払うべきだと思う」と発言した後に、つい口を滑らせ「われわれも会見中に靴ひもをほどく記者の動きには十分注意したい」とジョークを飛ばした。あにはからんや、その2ヵ月後に温家宝総理が英国ケンブリッジ大学の講演会で聴衆から「ここに独裁者がいるぞ!」と野次られ靴を投げつけられるとは!

幸いなことに、この「テロ攻撃」は標的に命中せず、温家宝総理は「我々は平和的に話し合っている。

---

最終ページに重要なお知らせ「注意事項」がありますので必ずお読みください。

1/3

この輩の行為が中英両国の友好を妨げることはない。調和が武力によって侵害されないことは歴史が証明している」と現場で発言して、そのまま講演を続け、大国の領袖としての度量を見せた。温厚篤実な温家宝氏らしい発言であり、これが前任の朱鎔基総理であれば、「中国製の靴であれば安くて頑丈で、命中精度はもっと高かったのに」といった辛辣なジョークを飛ばしたのではないだろうか。

今回の温家宝総理外遊の地は、英国・ドイツ・スペイン・スイス・ベルギーの五カ国であり、世界的な金融危機のなかで同氏の発言が世界中から注目を集めた。

特に日本を抜いて世界一(約 6000 億米ドル)の米国国債保有国として、今後の方針転換を伺わせる発言を行ったのが注目される。同氏は「これはとても微妙な問題であり、バラク大統領も知りたがっているだろう」と思わせぶりに切り出し、「中国が米国債を買い続けるか否かは中国自身が決める、外貨準備の運用多様化は検討課題であり、米国債投資はその一環である」と続けた。ソフトな口調の答弁ではあったが、実はアラファト発言を思わせる凄みのあるセリフだったのではないだろうか。

また欧州の主要五カ国を訪問しながら、フランスを素通りした理由について「誰もが知っていることだ」と言い放ち、チベット問題を巡る両国の対立を認め、フランスを強く牽制した。

温家宝総理はヨーロッパ滞在中、毎朝決まって随員に対し「昨日の上海(総合指数)はどうだった？」と尋ねたという。彼が自分の保有する A 株の相場を気にしているわけではない。

温家宝総理は 80 年代、趙紫陽(元総書記)の時代から早くも頭角を現していた政治にも経済にも強い大局観のある政治家である。彼は中国の株価上昇を経済回復のシンボルとして位置付け、政府の行使できるあらゆる手段を利用して状況を打開させようとしている。個人的には感心しないが、これが野党のいない一党独裁国家の強みである。

そして世界的な経済危機のなかで、中国が真っ先に景気回復を果たし、その経済パワーを(アメリカやフランス等に対する)国際政治に活用しようという戦略なのである。「昨日の上海(総合指数)はどうだった？」という問いかけの裏には、国際政治の厳しい現実がある。(了)

平成 21 年 2 月 10 日

## ご投資にあたっての注意事項

### 手数料等およびリスクについて

株式の手数料等およびリスクについて

- ・ 国内株式の売買取引には、約定代金に対して最大 1.2075% (税込み) (約定代金が 260,869 円以下の場合、3,150 円 (税込み)) の手数料をいただきます。国内株式を募集、売出し等により取得いただく場合には、購入対価のみをお支払いいただきます。

国内株式は、株価の変動により、元本の損失が生じるおそれがあります。

- ・ 外国株式等の売買取引には、売買金額(現地における約定代金に現地委託手数料と税金等を買いの場合には加え、売りの場合には差し引いた額)に対して最大 0.8400% (税込み) の国内取次ぎ手数料をいただきます。外国の金融商品市場等における現地手数料や税金等は、その時々々の市場状況、現地情勢等に応じて決定されますので、本書面上その金額等をあらかじめ記載することはできません。

外国株式は、株価の変動および為替相場の変動等により、元本の損失が生じるおそれがあります。

債券の手数料等およびリスクについて

- ・ 非上場債券を募集・売出し等により取得いただく場合は、購入対価のみをお支払いいただきます。

債券は、金利水準の変動等により価格が上下し、元本の損失を生じるおそれがあります。外国債券は、金利水準の変動等により価格が上下するほか、カントリーリスク及び為替相場の変動等により元本の損失が生じるおそれがあります。また、倒産等、発行会社の財務状態の悪化により元本の損失を生じるおそれがあります。

投資信託の手数料等およびリスクについて

- ・ 投資信託のお取引にあたっては、申込(一部の投資信託は換金)手数料をいただきます。投資信託の保有期間中に間接的に信託報酬をご負担いただきます。また、換金時に信託財産留保金を直接ご負担いただく場合があります。

投資信託は、個別の投資信託ごとに、ご負担いただく手数料等の費用やリスクの内容や性質が異なるため、本書面上その金額等をあらかじめ記載することはできません。

投資信託は、主に国内外の株式や公社債等の値動きのある証券を投資対象とするため、当該金融商品市場における取引価格の変動や為替の変動等により基準価格が変動し、元本の損失が生じるおそれがあります。

株価指数先物・株価指数オプション取引の手数料等およびリスクについて

- ・ 株価指数先物取引には、約定代金に対し最大 0.0840% (税込み) の手数料をいただきます。また、所定の委託証拠金が必要となります。
- ・ 株価指数オプション取引には、約定代金、または権利行使で発生する金額に対し最大 4.20% (税込み) (約定代金が 2,625 円に満たない場合は、2,625 円 (税込み)) の手数料をいただきます。また、所定の委託証拠金が必要となります。

株価指数先物・株価指数オプション取引は、対象とする株価指数の変動により、委託証拠金の額を上回る損失が生じるおそれがあります。

### ご投資にあたっての留意点

取引や商品ごとに手数料等およびリスクが異なりますので、当該商品等の契約締結前交付書面、上場有価証券等書面、目論見書、等をよくお読みください。